

# 安全データシート (SDS)

## (特) 剥離剤

### 1、製品および会社情報

製品名：(特) 剥離剤  
用途：業務用化学床用剥離剤  
会社名：株式会社つやげん  
住所：〒145-0075 東京都大田区西嶺町 13-9  
電話番号：03-5741-8011 (代表)  
担当部門：鶴見工場  
緊急連絡先 045-585-3912 (鶴見工場)  
作成：平成 25 年 6 月 4 日  
改訂：平成 28 年 6 月 24 日

### 2、危険有害性の要約

#### ■化学物質等の分類：腐食性物質

物理化学的危険性		人健康有害性	
GHS分類	区分	GHS分類	区分
爆発物	分類対象外	急性毒性（経口）	区分 5
可燃性又は引火性ガス（化学的に不安定なガスを含む）	分類対象外	急性毒性（経皮）	区分 4
エアゾール	分類対象外	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
支燃性又は酸化性ガス類	分類対象外	急性毒性（吸入：蒸気）	区分 3
高压ガス	分類対象外	急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
引火性液体	区分外	皮膚腐食性及び刺激性	区分 1
可燃性固体	分類対象外	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 1
自己反応性化学品	分類できない	呼吸器感作性	区分 1
自然発火性液体	分類できない	皮膚感作性	区分 1
自然発火性固体	分類対象外	生殖細胞変異原性	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない	発がん性	区分 2
水反応可燃性化学品	分類できない	生殖毒性	区分 2
酸化性液体	分類できない	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 2
酸化性固体	分類対象外	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2
有機過酸化物	分類対象外	吸引性呼吸器有害性	分類できない
金属腐食性物質	分類できない		
		環境有害性	
		GHS分類	区分
		水生環境有害性（急性）	区分 3
		水生環境有害性（慢性）	分類できない

#### ■GHSラベル要素



#### ■注意換気語：危険

■危険有害性情報

■危険有害性情報

皮膚に接触すると有害

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

吸入すると有毒

発がんのおそれの疑い

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

神経系、血液、肝臓、腎臓の障害

呼吸器系の障害のおそれ

長期にわたる又は反復ばく露による神経系、血液、呼吸器、消化管、肝臓、腎臓、精巣の障害のおそれ

水生生物に有害

注意書き

■安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

■応急処置

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。

ただちに医師に連絡すること。

医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

■保管：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

■廃棄：内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3、組成、成分情報

#### ■単一物質・混合物の区別：混合物

化学式または一般名	化学式	化審法番号	CAS-No	安衛法番号	含有量 (%)
水	H <sub>2</sub> O		7732-18-5	非該当	非開示
エチレングリコールモノノール マループチルエーテル	H <sub>3</sub> C <sub>4</sub> OC <sub>2</sub> H <sub>4</sub> OH	(2) -407	111-76-2	79	16.0
2-アミノエタノール	HOCH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> NH <sub>2</sub>	(2) -301	141-43-5	21	8.2
水酸化ナトリウム	NaOH	(1) -410	1310-73-2	319	1～5
非イオン界面活性剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
陰イオン界面活性剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
トリナトリウム=2,2',2"-ニ トリロトリアセタート	C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> NO <sub>6</sub> Na <sub>3</sub> ・H <sub>2</sub> O	(2) -1277	5064-31-3	非該当	1～5
フッ素系界面活性剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
香料	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
染料	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示

### 4、応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合：流水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに口をすすぐこと。コップ1～2杯の水を飲ませ直ちに医師の診断、手当てを受けること。無理に吐かせないこと。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

### 5、火災時の措置

- 消火剤：耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類、水。
- 特有の危険有害性：火災時に刺激性、腐食性および毒性のガスを発生する恐れがある。
- 特有の消化方法：火元への燃焼源を遮断する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。容器が熱に晒されている時は移さない。  
安全に対処できるならば着火源を除去する。
- 消火を行う者の保護：適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

### 6、漏出時

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：直ちに適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立ち入りを禁止する。密閉された場所に立ち入る前に換気する。
- 環境に対する注意事項：環境中に放出してはならない。
- 回収・中和：不活性材料（乾燥砂または土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
- 封じ込め及び浄化方法・機材：危険でなければ洩れを止める。
- 二次災害防止策：排水溝、下水溝、地下室あるいは密閉場所への流入を防ぐ。

## 7、取扱い及び保管上の注意

### ■取扱い

技術的対策：「8、暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気：「8、暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。

安全取扱注意事項：取扱い後はよく手を洗う。この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避け、屋外または換気の良い区域のみで使用すること。

飲み込まないこと。皮膚および眼との接触を避けること。

接触回避：「10、安定性及び反応性」を参照。

### ■保管

混触危険物質「10、安定性及び反応性」を参照。

保管条件：強酸化剤から離し、容器を密閉する。直接日光、40℃以上の高温、-5℃以下の低温を避け、換気の良い冷暗所に密閉、施錠して保管する。

---

## 8、暴露防止及び保護措置

管理濃度：未設定

許容濃度：未設定

水酸化ナトリウム：日本産業衛生学会（2009 年版）

最大許容濃度 2mg/m<sup>3</sup>

設備対策：この製品を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具：適切な呼吸器保護具、保護眼鏡、保護手袋、保護衣を着用する。

衛生対策：取扱い後はよく手を洗うこと。この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

---

## 9、物理的/科学的性質

色	黄色透明
形状	液体
PH	13~14 (25℃)
粘度	データなし
比重	1.025 ±0.005 (25℃)
溶解度	水に任意に溶解
臭い	データなし
凝固点	0℃以下
沸点	約 100℃
引火点	データなし

---

## 10、安定性及び反応性

安定性：常温・常圧では安定

危険有害反応性：強酸、強酸化剤と激しく反応する。

避けるべき条件：燃烧、混触危険物質との接触。加熱、火源、混接触物質との接触。

混触危険物質：酸、酸化性化合物、強酸化剤、酸塩化物、アルミニウム、銅、真ちゅう、亜鉛、すすおよびそれらの合金。

危険有害な分解生成物：加熱すると分解し、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物を生じる。アルミニウム、銅、真ちゅう、亜鉛、すすおよびそれらの合金と反応して可燃性の水素ガスを発生する。

## 11、有害性情報：

急性毒性：経口：混合物判定理論 LD50 推定値 A T E mix が 2,000mg / k g 以上であるため区分外とした。

経皮：混合物判定理論 LD50 推定値 A T E mix が 1,237mg / k g であるため区分 4 とした。

吸入（蒸気）：混合物判定理論 LC50 推定値 A T E mix が 2,486ppm / 4H であるため区分 3 とした。

皮膚腐食性／刺激性：pH が 11.5 以上である水酸化ナトリウムを 1% 以上含むため区分 1 とした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：pH が 11.5 以上である水酸化ナトリウムを 1% 以上含むため区分 1 とした。

呼吸器感受性：データ不足のため分類できない。

皮膚感受性：区分 1 の 2-アミノエタノールを 1% 以上含むため区分 1 とした。

生殖細胞変異原性：データ不足のため分類できない。

発がん性：区分 2 のトリナトリウム=2,2',2''-ニトリロトリアセートを 1% 以上含むため区分 2 とした。

生殖毒性：区分 2 のエチレングリコールモノノルマルブチルエーテルを 3% 以上含むため区分 2 とした。

特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）：区分 1（中枢神経系、血液、肝臓、腎臓）のエチレングリコールモノノルマルブチルエーテルを 16.0% 含むため区分 1（中枢神経系、血液、肝臓、腎臓）とした。区分 1（神経系、肝臓）の 2-アミノエタノールを 8.2% 含むため区分 2（神経系、肝臓）となるが、区分 1（神経系、肝臓）に統合した。区分 1（呼吸器）の水酸化ナトリウムを 1~5% 含むため区分 2（呼吸器）とした。

特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：区分 1（神経系、呼吸器、消化管、肝臓、腎臓、精巣）の 2-アミノエタノールを 8.2% 含むため区分 2（神経系、呼吸器系、消化管、肝臓、腎臓、精巣）とした。  
区分 2（血液）のエチレングリコールモノブチルエーテルを 16.0% 含むため区分 2（血液）とした。

吸引性呼吸器有害性：データ不足のため分類できない。

---

## 12、環境影響情報

水生環境有害性（急性）：（毒性乗率×100×急性区分 1）+（10×急性区分 2）+急性区分 3 が 25% を超えるため、区分 3 とした。

水生環境有害性（慢性）：データ不足のため分類できない。

生態毒性：データなし

生態蓄積性：データなし

残留性・分解性：データなし

---

## 13、廃棄上の注意

残余廃棄物：産業廃棄物処理認定業者に特別管理産業廃棄物（廃アルカリ）として委託し処理すること。

汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切に処理する。

---

## 14、輸送上の注意

### 国際規制

国連分類（Class）：クラス 8

国連番号（UN No.）：3267

### 国内規制

陸上輸送：消防法、安衛法に定められている運送方法に従う。

海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件：容器の破損、腐食、漏出等がないことに注意・確認する。転倒、落下、破損がないような積載方法、荷崩れの防止を確実に行う。

緊急措置指針番号：153

## 15、適用法令

### 国内適用法令

消防法：非該当

労働安全衛生法：表示及び通知対象物質：2-アミノエタノール（21号）、  
エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル（79号）、  
水酸化ナトリウム（319号）

有機則：（第2種有機溶剤）エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル

PRTR法：（第1種指定化学物質 政令番号第20号）2-アミノエタノール

毒劇物取締り法：非該当

船舶安全法：腐食性物質

航空法：腐食性物質

---

## 16、その他の情報

記載内容のお問い合わせ

会社情報

住所：東京都大田区西嶺町 13-9

会社名：株式会社つやげん

電話番号：03-5741-8011

\*危険性・有害性の情報は当社の最善の調査、評価にもとづいておりますが、必ずしも安全性を十分に保障するものではありません。化学物質の有害性には、予見できないこともあり、取り扱いには細心の注意を払って下さい。本品の適正な使用についてはご使用者の責任において使用くださいますようお願いいたします。